

生涯学習についてのアンケート結果

県では、令和５年１２月に「第４期滋賀県教育振興基本計画」を策定し、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに取り組んでいるところです。

本計画において県が目指す姿への到達状況について、成果や達成状況を把握するための指標を設定しており、毎年点検・評価を行い施策の展開に反映しています。

そこで「生涯学習の場の充実」に関する県民の方々の意識調査を目的としてアンケート調査を実施しました。

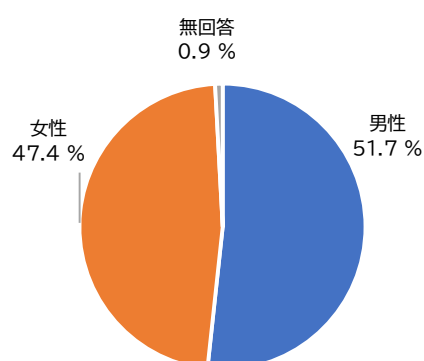
- ★ 調査時期：令和７年１月
- ★ 対象者：県政モニター 299人
- ★ 回答数：234人（回答率 78.3%）
- ★ 担当課：教育委員会事務局 生涯学習課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性について】

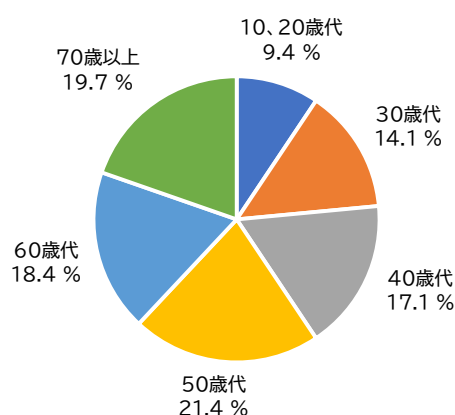
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	121	51.7
女性	111	47.4
無回答	2	0.9
合計	234	100.0



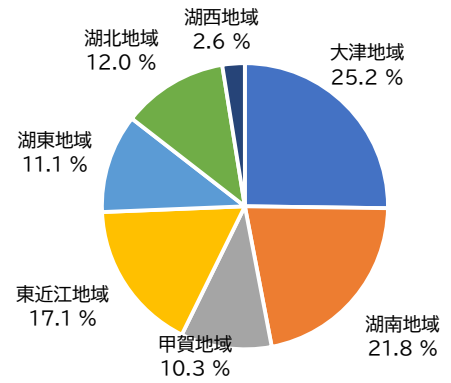
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10、20歳代	22	9.4
30歳代	33	14.1
40歳代	40	17.1
50歳代	50	21.4
60歳代	43	18.4
70歳以上	46	19.7
合計	234	100.0



◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域 (大津市)	59	25.2
湖南地域 (草津市、守山市、栗東市、野洲市)	51	21.8
甲賀地域 (甲賀市、湖南市)	24	10.3
東近江地域 (近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	40	17.1
湖東地域 (彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	26	11.1
湖北地域 (長浜市、米原市)	28	12.0
湖西地域 (高島市)	6	2.6
合計	234	100.0

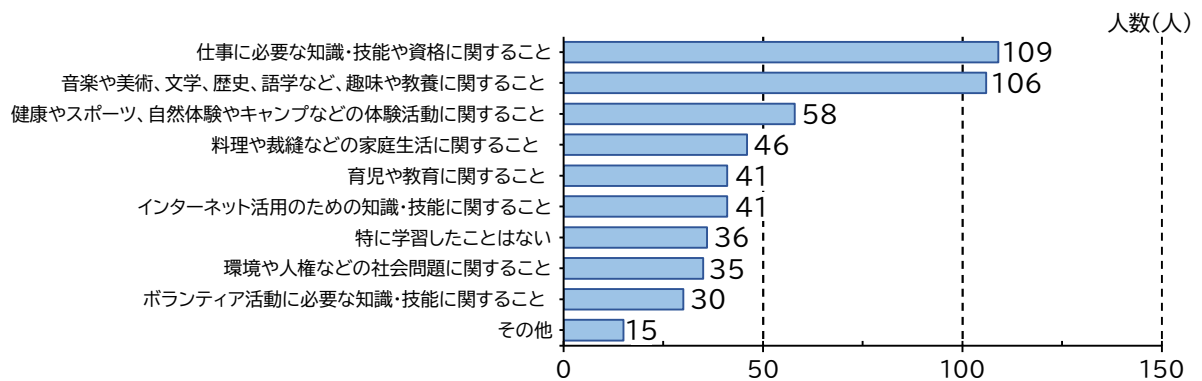


【生涯学習の現状について】

問1 あなたがこの1年間に学習した内容について教えてください。

該当する項目を選択してください。(「特に学習したことはない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=234)

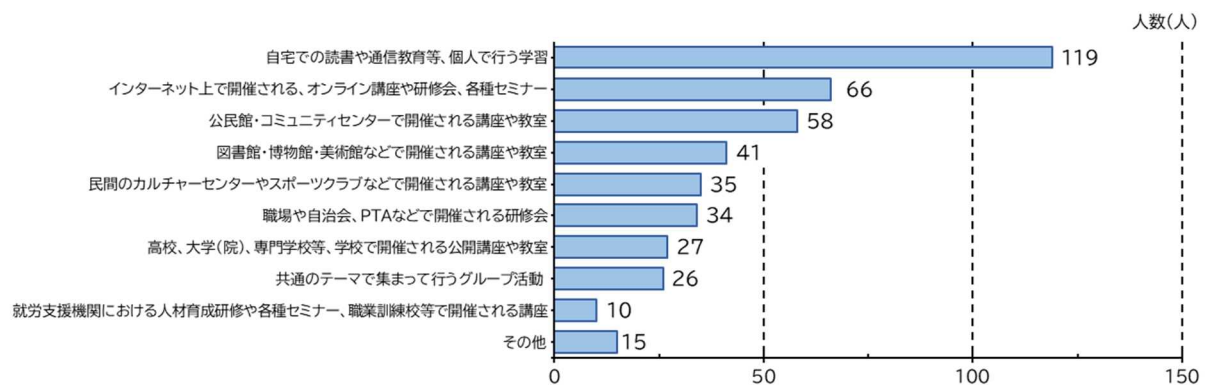
回答	人数(人)	割合(%)
仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	109	46.6
音楽や美術、文学、歴史、語学など、趣味や教養に関すること	106	45.3
健康やスポーツ、自然体験やキャンプなどの体験活動に関すること	58	24.8
料理や裁縫などの家庭生活に関すること	46	19.7
育児や教育に関すること	41	17.5
インターネット活用のための知識・技能に関すること	41	17.5
特に学習したことはない	36	15.4
環境や人権などの社会問題に関すること	35	15.0
ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	30	12.8
その他	15	6.4



問2 どのような方法で学習しましたか。

問1で「特に学習したことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=198)

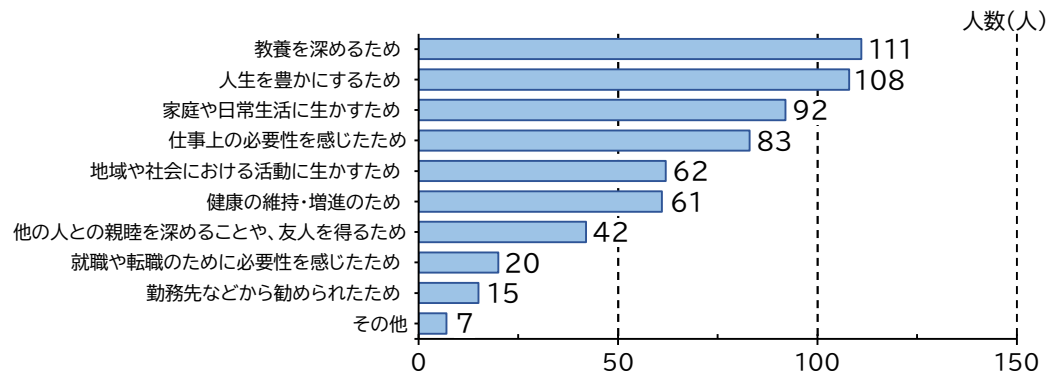
回答	人数(人)	割合(%)
自宅での読書や通信教育等、個人で行う学習	119	60.1
インターネット上で開催される、オンライン講座や研修会、各種セミナー	66	33.3
公民館・コミュニティセンターで開催される講座や教室	58	29.3
図書館・博物館・美術館などで開催される講座や教室	41	20.7
民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどで開催される講座や教室	35	17.7
職場や自治会、PTAなどで開催される研修会	34	17.2
高校、大学(院)、専門学校等、学校で開催される公開講座や教室	27	13.6
共通のテーマで集まって行うグループ活動	26	13.1
就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校等で開催される講座	10	5.1
その他	15	7.6



問3 学習しようと思った理由を教えてください。

問1で「特に学習したことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=198)

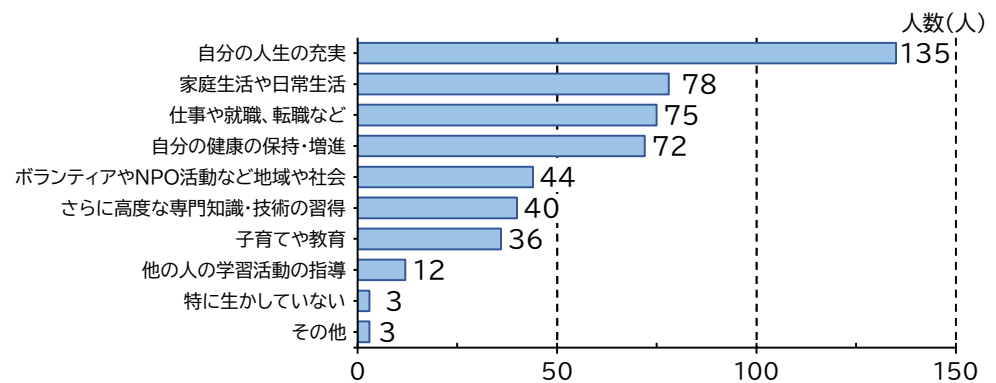
回答	人数(人)	割合(%)
教養を深めるため	111	56.1
人生を豊かにするため	108	54.5
家庭や日常生活に生かすため	92	46.5
仕事上の必要性を感じたため	83	41.9
地域や社会における活動に生かすため	62	31.3
健康の維持・増進のため	61	30.8
他の人との親睦を深めることや、友人を得るため	42	21.2
就職や転職のために必要性を感じたため	20	10.1
勤務先などから勧められたため	15	7.6
その他	7	3.5



問4 学習して身に付けた知識技能や経験は何に生かしていますか。

問1で「特に学習したことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。（「特に生かしていない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=198）

回答	人数(人)	割合(%)
自分の人生の充実	135	68.2
家庭生活や日常生活	78	39.4
仕事や就職、転職など	75	37.9
自分の健康の保持・増進	72	36.4
ボランティアやNPO活動など地域や社会	44	22.2
さらに高度な専門知識・技術の習得	40	20.2
子育てや教育	36	18.2
他の人の学習活動の指導	12	6.1
特に生かしていない	3	1.5
その他	3	1.5

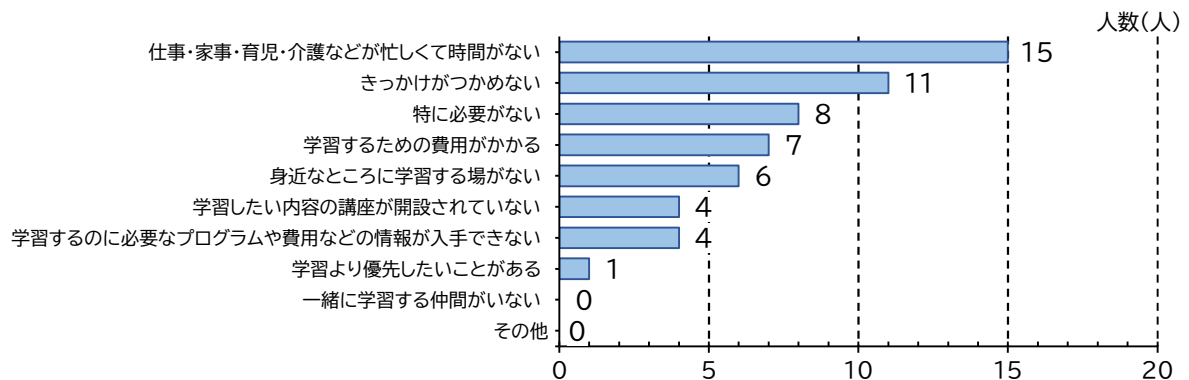


問5 特に学習しなかった理由を教えてください。

問1で「特に学習したことはない」を選択された方のみ該当する項目を選択してください。（回答チェックはいくつでも。n=36）

回答	人数(人)	割合(%)
仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	15	41.7
きっかけがつかめない	11	30.6
特に必要がない	8	22.2
学習するための費用がかかる	7	19.4

身近なところに学習する場がない	6	16.7
学習したい内容の講座が開設されていない	4	11.1
学習するのに必要なプログラムや費用などの情報が入手できない	4	11.1
学習より優先したいことがある	1	2.8
一緒に学習する仲間がいない	0	0
その他	0	0

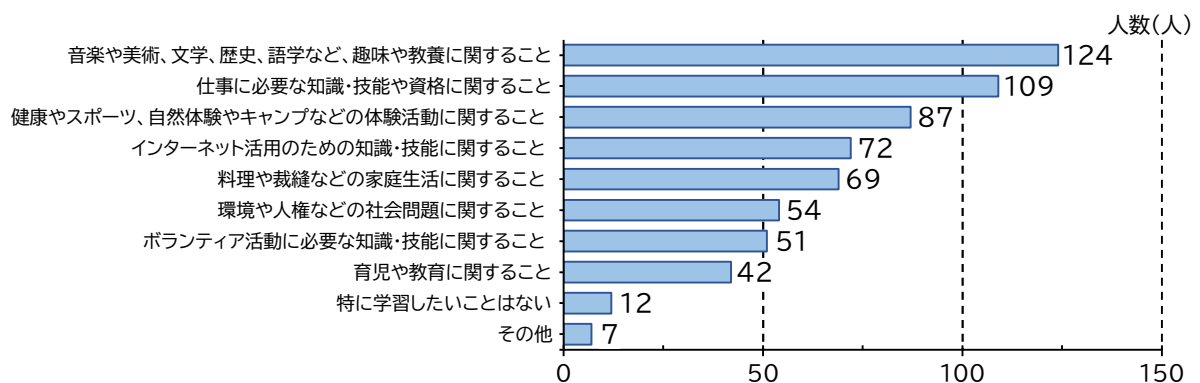


【今後、学習したいと思うことについて】

問6 何を学習したいですか。

該当する項目を選択してください。(「特に学習したいことはない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=234)

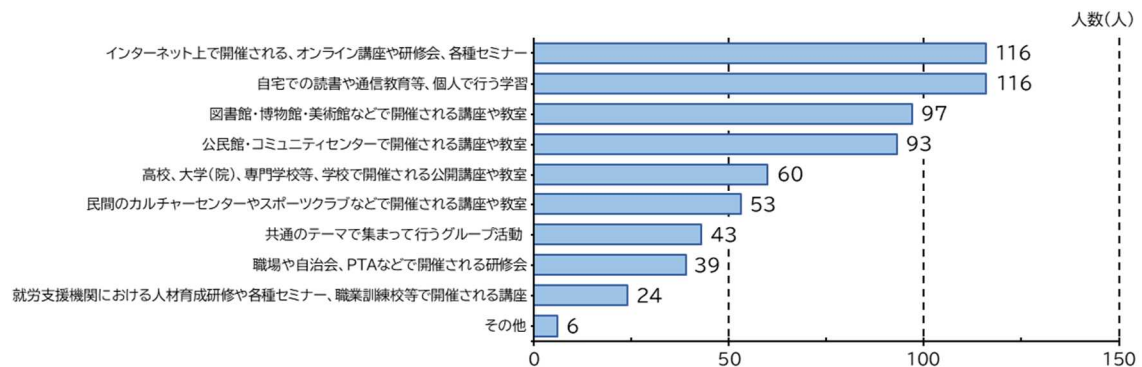
回答	人数(人)	割合(%)
音楽や美術、文学、歴史、語学など、趣味や教養に関すること	124	53.0
仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	109	46.6
健康やスポーツ、自然体験やキャンプなどの体験活動に関すること	87	37.2
インターネット活用のための知識・技能に関すること	72	30.8
料理や裁縫などの家庭生活に関すること	69	29.5
環境や人権などの社会問題に関すること	54	23.1
ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	51	21.8
育児や教育に関すること	42	17.9
特に学習したいことはない	12	5.1
その他	7	3.0



問7 どのような方法で学習したいですか。

問6で「特に学習したいことはない」を選択した方以外、該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=222)

回答	人数(人)	割合(%)
インターネット上で開催される、オンライン講座や研修会、各種セミナー	116	52.3
自宅での読書や通信教育等、個人で行う学習	116	52.3
図書館・博物館・美術館などで開催される講座や教室	97	43.7
公民館・コミュニティセンターで開催される講座や教室	93	41.9
高校、大学(院)、専門学校等、学校で開催される公開講座や教室	60	27.0
民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどで開催される講座や教室	53	23.9
共通のテーマで集まって行うグループ活動	43	19.4
職場や自治会、PTAなどで開催される研修会	39	17.6
就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校等で開催される講座	24	10.8
その他	6	2.7

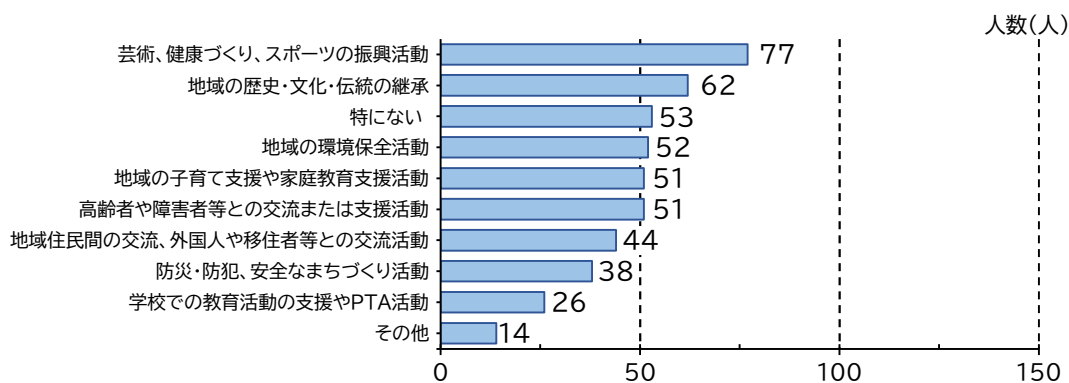


【学習成果の活用について】

問8 学習の成果を社会に生かせると思うのはどんな場面ですか。

該当する項目を選択してください。(「特にない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=234)

回答	人数(人)	割合(%)
芸術、健康づくり、スポーツの振興活動	77	32.9
地域の歴史・文化・伝統の継承	62	26.5
特にない	53	22.6
地域の環境保全活動	52	22.2
地域の子育て支援や家庭教育支援活動	51	21.8
高齢者や障害者等との交流または支援活動	51	21.8
地域住民間の交流、外国人や移住者等との交流活動	44	18.8
防災・防犯、安全なまちづくり活動	38	16.2
学校での教育活動の支援やPTA活動	26	11.1
その他	14	6.0

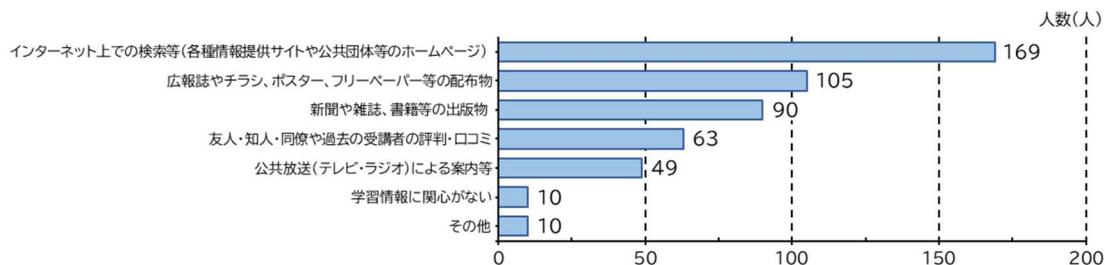


【学習に関する情報の入手方法について】

問9 学習情報はどのような方法で入手していますか。

該当する項目を選択してください。(「学習情報に関心がない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=234)

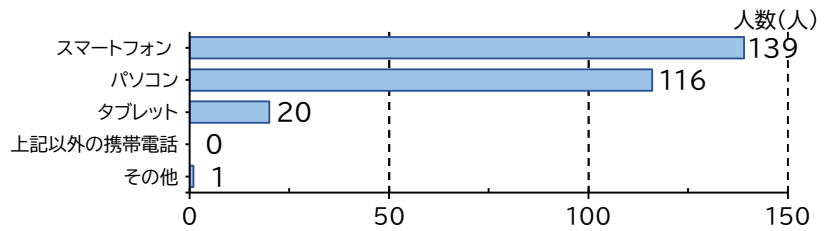
回答	人数(人)	割合(%)
インターネット上での検索等(各種情報提供サイトや公共団体等のホームページ)	169	72.2
広報誌やチラシ、ポスター、フリーペーパー等の配布物	105	44.9
新聞や雑誌、書籍等の出版物	90	38.5
友人・知人・同僚や過去の受講者の評判・口コミ	63	26.9
公共放送(テレビ・ラジオ)による案内等	49	20.9
学習情報に関心がない	10	4.3
その他	10	4.3



問10 何を使ってインターネット上の情報を入手していますか。

問9で「インターネット上での検索等(各種情報提供サイトや公共団体等のホームページ)」を選択された方のみ、該当する項目を選択してください。(回答チェックは2つまで。n=169)

回答	人数(人)	割合(%)
スマートフォン	139	82.2
パソコン	116	68.6
タブレット	20	11.8
上記以外の携帯電話	0	0
その他	1	0.6



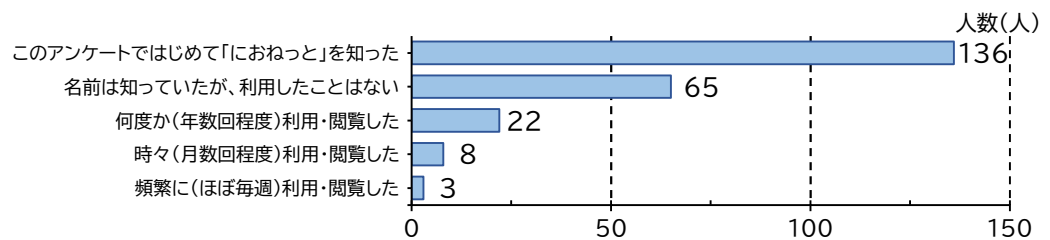
【滋賀県学習情報提供システム「におねっと」について】

問11 この1年間に「におねっと」をどの程度利用されましたか。

該当する項目を選択してください。(回答は1つだけ。n=234)

※ 「におねっと」は、県民の主体的な生涯学習を支援するため、県内で開催される講座などの学習情報を一元化して提供している県のHP。視聴覚教材の貸出予約や学習相談の受付等を行っています。

回答	人数(人)	割合(%)
このアンケートではじめて「におねっと」を知った	136	58.1
名前は知っていたが、利用したことはない	65	27.8
何度か(年数回程度)利用・閲覧した	22	9.4
時々(月数回程度)利用・閲覧した	8	3.4
頻繁に(ほぼ毎週)利用・閲覧した	3	1.3
合計	234	100



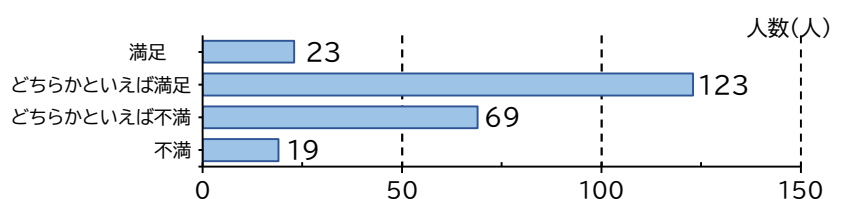
問12 提供している情報内容への満足度をお答えください。

該当する項目を選択してください。(回答は1つだけ。n=234)

※ 問11で「名前は知っていたが、利用したことはない」「このアンケートではじめて「におねっと」を知った」を選択された方も、「におねっと」サイトを閲覧いただきお答えください。

【サイトURL】 <https://www.nionet.jp>

回答	人数(人)	割合(%)
1. 満足	23	9.8
2. どちらかといえば満足	123	52.6
3. どちらかといえば不満	69	29.5
4. 不満	19	8.1
合計	234	100



理由をお聞かせください。(一部抜粋)

「1. 満足」または「2. どちらかといえば満足」と回答された理由

- ・ 講座を検索する時に期間や種類、場所など細かく絞り込めるので自分が受けたい講座を受けられるのでいい。
- ・ 紙媒体でないの、いつでも気になったときに、日時や地域別などで検索できるのが便利。
- ・ 県内の広範囲な地域の情報が調べられるのでいい。

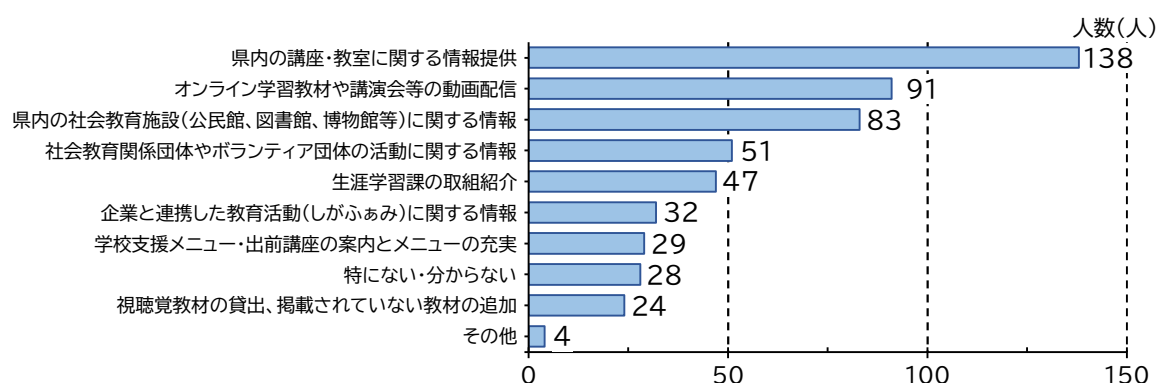
「4. 不満」または「3. どちらかといえば不満」と回答された理由

- ・ コンテンツが多く見る気にならない。
- ・ 複雑過ぎる。
- ・ 画面全体の構成・デザインや画面遷移、検索方法が使用しにくい。
- ・ どちらかといえば学校教育機関向けで、希望する内容がなかった。

問13 どのようなサービスを充実してほしいですか。

該当する項目を選択してください。(「特にない・分からない」を選択した人以外は、回答チェックはいくつでも。n=234)

回答	人数(人)	割合(%)
県内の講座・教室に関する情報提供	138	59.0
オンライン学習教材や講演会等の動画配信	91	38.9
県内の社会教育施設(公民館、図書館、博物館等)に関する情報	83	35.5
社会教育関係団体やボランティア団体の活動に関する情報	51	21.8
生涯学習課の取組紹介	47	20.1
企業と連携した教育活動(しがふぁみ)に関する情報	32	13.7
学校支援メニュー・出前講座の案内とメニューの充実	29	12.4
特にない・分からない	28	12.0
視聴覚教材の貸出、掲載されていない教材の追加	24	10.3
その他	4	1.7

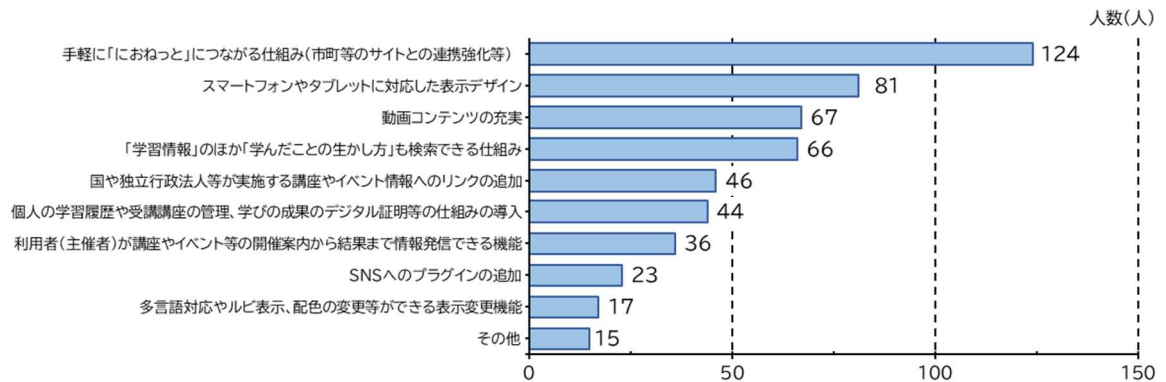


問14 より使いやすくなるためにあればよいと思う機能は何ですか。

該当する項目を選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=234)

回答	人数(人)	割合(%)
手軽に「におねっと」につながる仕組み(市町等のサイトとの連携強化等)	124	53.0
スマートフォンやタブレットに対応した表示デザイン	81	34.6
動画コンテンツの充実	67	28.6
「学習情報」のほか「学んだことの生かし方」も検索できる仕組み	66	28.2

国や独立行政法人等が実施する講座やイベント情報へのリンクの追加	46	19.7
個人の学習履歴や受講講座の管理、学びの成果のデジタル証明等の仕組みの導入	44	18.8
利用者(主催者)が講座やイベント等の開催案内から結果まで情報発信できる機能	36	15.4
SNS へのプラグインの追加	23	9.8
多言語対応やルビ表示、配色の変更等ができる表示変更機能	17	7.3
その他	15	6.4

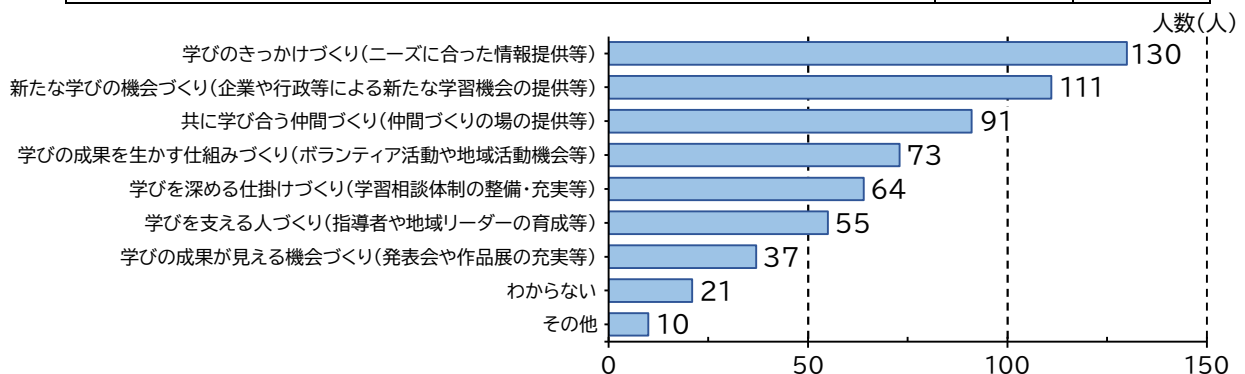


【すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習の振興について】

問15 県は今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。

該当する項目を選択してください。(「わからない」を選択した人以外は、回答チェックはくつでも。n=234)

回答	人数(人)	割合(%)
学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供等)	130	55.6
新たな学びの機会づくり(企業や行政等による新たな学習機会の提供等)	111	47.4
共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供等)	91	38.9
学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動機会等)	73	31.2
学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実等)	64	27.4
学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成等)	55	23.5
学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品展の充実等)	37	15.8
わからない	21	9.0
その他	10	4.3



問16 今後の生涯学習の取組についてご意見をお聞かせください。(一部抜粋)

- ・令和6年度「滋賀県教育委員会事務の点検・評価」および「第3期滋賀県教育振興基本計画の進行管理」に関する報告書で、「学びの成果を地域のために活かしている」が23.9%、「仕事・就職転職に生かしている」が39.7%になっているが、もともと滋賀県下の地域活動が低調ということや仕事・就職転職のために生涯学習を使おうとする人が少ないということかもしれません。学習の目的の明確化と目的に合わせた実施が必要かもしれません。リスキリングがこれから重要になりますが、生涯学習の目的にリスキリングを入れるのに合わせて、産業界と連携してリスキリングを支援する県の方針を確立するとなお良いと思います。
- ・本事業は多くの県民に認知されていないと思います。私も今回初めて「におねっと」を閲覧しましたが、興味のある内容が多くあって感心しました。超高齢社会となった現代において、生涯学習は大変重要で意味のあるものとなっています。是非とも利用者の幅を広げるべく広報に務められるとともに、利用者の意見を取り入れて内容の充実にも務められることを希望します。もちろん高齢世代だけでなく、働き世代・現役世代が気軽に取り組めるコンテンツの拡充をお願いします。一億総生涯学習時代に突入している現代、行政の支援・主導により県民の活発な活動への対応を期待いたします。
- ・社会人になると仕事以外のことで自分から学ぶことがない。でも、きっかけさえあれば学びは身近なところにあると思う。知らないことを学ぶというのは楽しい。それが役に立たないことでもうれしい。
- ・機会が増えるような仕組み作りが大切だと思います。年齢を重ねるごとに必要性を感じるのは小生だけではないと思います。生涯学習は常に思うことで、日常生活の中で現役世代を卒業してもその思いは年々強くなるのが常のようです。機会があれば参加して学ぶことを考えている世代です。機会をどんどん作っていただきたいと思っています。
- ・講座内容が子ども・青年向けか高齢者向けがほとんどで、30～40代の子育て世代、キャリア世代が受けられるような内容が少ない。
- ・例えば、県のプランにある多文化共生社会に向けて「やさしい日本語講座」や多文化理解に関する講座などがあればいいと個人的に思う。
- ・他にも人間関係を円滑にするためのコミュニケーションに関する講座とか子育てに関する講座（アンガーマネジメント、子どもへどんな声かけがいいか、など）や、心のセルフケアの方法など個人が学べる内容があればいいなと思います。
- ・生涯学習については、40代後半となり、自分ごととして、真剣に考える時期かと思っています。退職後の将来について、今から準備するにしても、知識を付ける必要があります。家庭内でも、子どもや家族と一緒に地域の歴史や自然について調べたり、エコ活動を行ったりするなど、日常生活に学びの機会を取り入れたいと思います。
- ・行政の施策を積極的に活用しつつ、自分自身が学びの輪を広げる「推進者」として行動したいと思います。間接的な情報からではなく、自分から能動的に行動することで、子どもの意識も変わり、成長する過程で生涯学習を長い視点でとらえ、有効な将来設計ができると思います。
- ・大学、図書館、博物館、美術館、展示館、体育館等で、それぞれにちなんだ講座を受ける機会が、もう少し増えたらいいのではと思います。
- ・官民協働で民のリソースも使ってほしい。
- ・人生100年時代に生涯学習の重要性は言うまでもないが、社会の仕組みが追いついてない。従来の教育制度だけでなく、高齢者を教育する仕組みが必要になっている。高齢者が第二の人生を始めるに当たり、リスキリングのための教育の在り方がこれから課題になってくる。学校施設などの箱もの以上に大事なものは、高齢者の需要に対応できる、教育者の人材育成と考えます。
- ・以前は、自治会の活動の中に生涯学習があり、役員を担当したことがあったが、近年は自治会の活動で生涯学習がなくなっている。役員のなり手がいない自治会が多い中で、出前講

座等の生涯学習の活動は困難である。洪水時には危険な地先になっていても、安心して住まいできるまちづくりにも関心がない。県や市が「洪水ハザードマップ」や「地先の安全度マップ」を全戸配布しても、理解できている人は少ない。避難につながっていないことで証明されている。配布するだけでなく、危険な地先には、県や市が説明に歩かれることが、上記のマップを活かすことになる。そして、地先の電線柱等に洪水高の標識を表示するなどしなければ、避難につながらない。

- ・県民割引を増やすなど、学びになる入り口を増やしてほしい。例えば SNS で「真珠採掘できる水族館」についての投稿があったとき、福井や三重の水族館ではアコヤ貝から自分で真珠を採ってアクセサリにできると投稿があった。琵琶湖産の養殖真珠でそうした体験ができると、単純にやりたい気持ちもでてくるし、琵琶湖やその養殖事業について学びたい人もでてくるかもしれない。
- ・今は身近に感じることから取組をしていて、ご縁がある学習には足を運ぶようにしています。そういった情報を手軽に入手できたら嬉しいです！
- ・生涯学習の潜在ニーズは多くあると思います。今回のような情報をもっと市民に分かりやすく告知して、参加への敷居を低くすることが必要です。そのために告知する場所も工夫が必要です。生涯学習を求める人が集まる場所の掲示。例としては郵便局・図書館・病院・ケアハウス・介護施設もありかと思います。
- ・あらゆる機会をとらえて、すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習の振興をもっと目に見える形で県民に提供してほしい。